

まちのわだい

米粉の魅力を伝える フェスを開催

11月30日、市で生産が盛んな米粉の魅力をPRするため、「米粉フェスinみはら～米加工品の魅力～」を中央公民館で開催し、親子連れなど約530人が来場しました。会場では、米粉についての講演会を行なったほか、市内外から集まった企業・団体がブースを設け、お菓子やパン、麺など、米粉を使った商品の試食販売や展示を行いました。料理教室も開催し、参加者たちが米粉のフォカッチャやカスタードプリンなどの作り方を学びました。当日のレシピを市ホームページで公開しています。

農林水産課(☎0848・67・6077)



▲市HPの2次元コード



久井町吉田を照らす 冬ホタル

12月1日、久井町の吉田スポーツ広場で「冬ホタル」の点灯式が行われ、約3万8千本のペットボトルと約4万2千個の電球を使った手作りのイルミネーションが広場を彩りました。同イベントは今回で20回目。地区を盛り上げようと地元有志で作る実行委員会が、約1カ月かけて制作しました。昨年話題になったラグビーやタピオカドリンクをモチーフにした作品なども登場しました。点灯期間は1月2日(木)までです。



みはら市民音楽祭 35団体が出演

12月7日・8日、第21回みはら市民音楽祭を芸術文化センター ポポロで開催しました。市内の小学校やコーラスグループ、音楽サークルなど2日間で35団体、総勢755人が出演し、日頃の練習の成果を披露しました。

出演者たちの息の合った音色や歌声に、観客からは大きな拍手が送られました。
文化課(☎0848・64・9234)



市役所で美術作品を楽しんで

市役所本庁舎に飾った美術作品を、庁舎を巡りながら鑑賞してもらう企画「三原市庁舎 アートめぐり」を行っています。公立美術館がない三原市で、市所蔵の作品を気軽に楽しんでもらうために企画しました。幸崎能地出身の彫金家・清水南山や小坂町出身の画家・秦森康屯など、庁舎の2～8階に市にゆかりのある作家の作品29点を展示。定期的に展示替えを行う予定です。市役所の開庁日に鑑賞することができます。

文化課(☎0848・64・9234)



青森のリンゴ 子どもたちにプレゼント

12月5日、市内の保育所など26カ所に青森県津軽みらい農業協同組合から計3,200個のリンゴが贈られました。円一保育所で行われた寄贈式では、子どもたちがリンゴを受け取り、お礼に歌を披露しました。寄贈は今年で25回目。平成3年の台風で青森県のリンゴが被害を受けた際、三原市内の青果業者がリンゴの購入を申し出たことがきっかけで交流が始まりました。

児童保育課(☎0848・67・6042)

